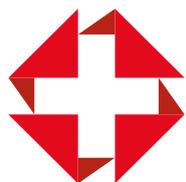


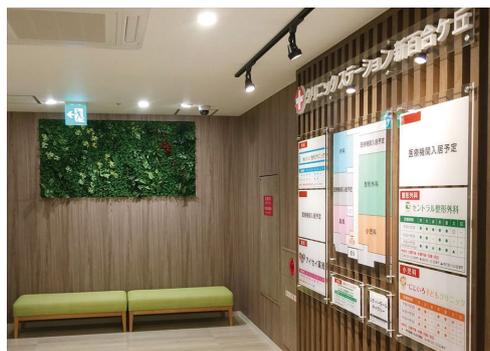
医療モールにより地域医療活性化に貢献 医師・医療機関とのリレーション深化



クリニック
ステーション



昨年度オープンしたクリニックステーション東十条



2018年7月1日にオープンしたクリニックステーション新百合ヶ丘

アイセイ薬局は創業以来30年にわたり、「医薬連携」を大切に医療サービスを展開してまいりました。特に地域のかかりつけ医であるクリニックとの協働モデルを積極的に展開しており、全国354店舗(2018年7月1日現在)のうち9割を占める314店舗がマンツーマン型と医療モール型であり、当社の出店特徴のひとつとなっております。また昨今は医療モールの自社開発による出店をさらに加速しており、2017年度においては新たに14施設の立ち上げとなりました。現在全国で医療モール122施設を運営し、まさにリーディングカンパニーとして業界トップクラスの実績を誇っております。医療モールとは診療科の異なる複数のクリニックと調剤薬局がひとつの建物や敷地に集合・集約された医療施設のことをいいます。患者さまにとっては様々な診療科の専門医による受診やお薬の受け取りを同一の施設内で行うことができるため利便性が高く、医療機関にとっては単独での開業に比べて地域住民の高い認知を獲得しやすく、広範囲からの集患や駐車場の共同使用など経営面におけるメリットがあります。また、複数の医療機関が発行する処方せんが医療モール内の調剤薬局に集約されることで患者さまの薬歴を一元管理することが可能となり、薬の重複投与や飲み合わせによる副作用の防止など医薬分業の趣旨に則った、より安心で安全な医療サービスを提供しやすくなります。

当社では2013年より医療モールのブランディング活動を開始し、新たな医療モールの屋号として「クリニックステーション」を立ち上げました。これは医療モールに入居する各クリニックのサインデザインの個性を活かしながら、ひとつの医療拠点として統一感を醸成させること、それにより地域における医療ランドマークとして、認知度を高めることを目的としております。現在、28拠点のクリニックステーションが全国で稼働しており、2018年度においても7月オープンの「クリニックステーション新百合ヶ丘」など、10施設以上のオープンを予定しております。また、クリニックステーションは“医療モール”という医療サービス実践の場

としての提供だけでなく、医療経営や医院開業に関するナレッジシェアを目的としたWEBサイト「CLINIC Station Portal(クリニックステーションポータル)」も2014年より運営しており、現在、勤務医や開業医など約2,300名の会員に対してサービスを提供しております。本年3月には医療モール実績の紹介ページを新たに設けました。これにより医療モールでの医院開業を検討される医師に向けた情報提供もさることながら、入居している各クリニックのホームページとリンクすることで、SEOをはじめとしたWEBマーケティング面での相乗効果を高めております。このように当社は医師・医療機関とのリレーションの深めた形で事業を推進することで、地域医療の活性化に貢献してまいりたいと考えております。

今回の「MONTHLY REPORT」では、医療経営や医院開業に関する医師向けのセミナーイベントをはじめ、行政と連携した地域住民向けのイベントなど、当社の様々な取り組みをご紹介します。

▼クリニックステーションWEBサイト「CLINIC Station Portal」



 **CLINICStationPortal**

医院開業・医療経営のための
ナレッジシェアサイト

URL:<https://clinicstation.jp/> ▶▶▶



「CLINIC Station LIVE 2018」

本年度も大阪・名古屋でダブル開催!



アイセイ薬局は医師を対象とした医療経営・医院開業セミナー「CLINIC Station LIVE (クリニックステーションライブ)2018」を6月17日に大阪、同24日に名古屋で開催いたしました。これは当社が運営するWEBサイト「CLINIC Station Portal(クリニックステーションポータル)」で展開する有用なナレッジコンテンツの提供と同一コンセプトのもと、会員の医師に対して直接ナレッジやノウハウをお伝えするセミナー形式のイベントです。医療経営や医院開業に直接役立つ講演をはじめ、企業経営者や各界著名人を講師としてお招きし、異業種からの知見も学べる場として2014年以降毎年開催を行っております。2018年度は講演枠をこれまでの1日3枠から5枠に拡大し、2会場で10本の講演プログラムとして質と量の充実を図りました。結果、両日で152名にご来場いただき、前年比150%となる大盛況での開催となりました。

大阪では「クリニックステーションライブ@大阪」と題し、大阪駅至近のグランフロント大阪で開催。超人気グルメライターが一流の飲食店が実践するホスピタリティについて解説。クリニック経営にも活かせるヒントが満載の講演となりました。また、医師会員数10万人超を誇るMedPeerが実施した開業医500名以上のアンケート調査を基にした“開業時を振り返って後悔していること”を様々な切り口で紹介。さらに6施設のクリニックを運営する医療法人の理事長からはライフ・ワーク・バランスを保ちながら医療と経営を両立するために必要な、強い組織にするための方法論など、クリニック経営に直結する講演がなされました。

名古屋の「クリニックステーションライブ@名古屋」は、名古屋駅直結のJPタワー名古屋で開催。マグロ船という過酷な環境下で

実践しているチームビルディングとコミュニケーション活性化のノウハウを「マグロ船式組織活性化論」として講師より紹介。また労働環境の大きな変化・変革により、近年その役割が再注目されている「産業医」についての情報アップデート1DAY講座や開業後に新人院長と院長夫人が直面する可能性の高い、医院スタッフにまつわる様々な不具合と対処法などの講演がなされました。

来場者からは「医療者以外の話が聞ける貴重な機会」、「実体験に基づいた本音の話は非常に説得力がある」など、高い満足度を示す声が聞かれました。

クリニックステーションライブは多くの企業が参画しております。本イベントの企画運営団体「DSA(Doctor's Support Association)」は、当社をはじめ医療機器・電子カルテメーカー、税理士法人や設計事務所、金融機関など、各分野プロフェッショナルが集い総合的な開業サポートを実践するための団体です。本イベントにおいても開業立地選定の評価軸や事業計画立案のポイント、医院開業で陥りやすい落とし穴など、医院開業を検討している医師にとって有用な多くの講演がなされました。同日に実施された「クリニック経営個別相談会」では両日で22組の医師からの相談に応じるなど、こちらも盛況を博しておりました。

近年は医院開業をしたものの中々経営が軌道に乗らず、苦戦しているクリニックが多いといわれています。当社ではこのようなセミナーイベントを通じて、医療機関の安定経営の一助になればと考えております。今後も理想の医療を提供する実践の場として積極的に医療モール開業物件を提案するとともに、様々なセミナー企画などで医師に対してのサポートを通じて地域医療への貢献を行ってまいります。



「クリニックステーションライブ@名古屋」受付



各分野の専門家によるトークセッション



後方には相談ブースを設置

水戸市主催の高齢者向け健康イベントに協力 地域包括ケアシステム確立に向けて大きな前進

去る6月10日(日)に、水戸市保健センターにおいて、水戸市主催の高齢者向け無料イベント「足腰・認知症チェックセミナー」が開催されました。当社はこのイベントに協力し機材貸し出しを担当しました。これまで当社は、水戸市の一部の地域で地域の医療福祉従事者が運営する同種のイベントに参画していましたが、そうした活動が市から高く評価され、今回からは市の高齢福祉課が主催し、主として市の予算で賄う活動となりました。今後は市全域をカバーする継続的な活動となり、市内の各地域を巡回し開催するイベントとなります。これは、全国で模索されている地域包括ケアシステムの確立に向けた活動の一つの先進的なモデルケースになるのではないかと考えます。

イベントでは、「血管年齢測定」「軽度認知症チェック」「ロコモ度チェック」などを行ったうえで、当社の薬剤師がその結果に基づいてコンサルティングを行いました。市の主催となったことで、参加者募集のための広報活動をはじめとして、会場の手配や、イベントでの多くの係員の配置などもすべて市の手配で行われました。イベントを主管する水戸市高齢福祉課地域支援センター所長の土屋勝(つちやまさる)氏は、「このイベントは参加者自身の健康サポートに留まらず、多くのデータを蓄積し分析することで、将来の高齢者福祉や地域での介護の考えていくための重要な役割を果たします。地域包括ケアシステムの構築に向けても大きな意味を持つステップです」と述べておられます。

イベントに参加するお年寄りにとっては、「市」が自分の健康状態をチェックしてくれるとなれば、これまでにも増して信頼感、安心感があるでしょう。今回も、事前の予想をはるかに超える大勢の方々にお集まりいただき、とても盛況のイベントとなりました。当社側の協力チームリーダーの脇田篤志(わきたあつし)は「こうしたイベントが水戸市全体で行われるようになることで、広い地域の方々の健康維持に貢献できます。やはりやりがいを感じますし、こうした活動は薬局としてもあるべき姿だと思います。私としてはこうした水戸市の取り組みを軌道に乗せるための協力を継続し、このようなモデルを周辺の自治体にも広げていきたいと思います」と語ります。

地域における多職種連携や地域包括ケアシステムの確立に向けた活動について、全国の多くの自治体が悩んでいる実情があります。アイセイ薬局は、これまで蓄積してきた経験とノウハウを活用し、全国各地で医療介護福祉従事者や自治体との連携する活動を進めています。社会がこうした活動を薬局や薬剤師に求めていることは論を待ちません。今後もアイセイ薬局の地域活動にご注目ください。



多くの皆さまにご参加いただきました!

イベントでの足腰・認知症チェック実施風景



ロコモ度チェックの1つである「2ステップテスト」



ボランティア講師によるシルバー体操体験



様々な健康チェックのデータに基づくコンサルティング

月・祝

7/16

アイセイヘルスケアプロモーションのテーマは“きず・やけど” プロモーションに連動したイベントを7月16日に開催

アイセイ薬局は、7月17日から“きず・やけど”をテーマとした予防医療啓発キャンペーン“きず・やけど”手当の新常識”を開始します。本キャンペーンに先立つ取り組みの一環として、7月16日に手島玲子医師(てしまクリニック形成外科・皮膚科院長)による“きず・やけど”をテーマとした講演を行います。これは「健康フェスティバル」と銘うって行う地域住民向けのイベントで今回は、「きず・やけど”の手当て これが新常識!」と題して、“きず・やけど”をしてしまった時に、今までよりも早くきれいに治す“きず・やけど”の新しい手法「湿潤治療」についてわかりやすく解説します。また当日は、当社 後楽園店薬剤師 萬羽久美子(ばんばくみこ)から「へー、そうなんだ!脱水症状について。」と題した講演も行います。おとなも子どももアクティブになるこの時期に役立つ、予防医療の知識を地域の皆さまにお届けします。



日時: 7月16日(月・祝) 12:30~16:00 会場: 東京都文京区春日1丁目16番21号文京シビックセンター4階シルバーホール

12:30~14:00

健康チェック&相談会
(骨密度・血管年齢・肌年齢測定)

14:00~14:30

アイセイ薬局 後楽園店 萬羽久美子講演
「へー、そうなんだ!脱水症状について。」

14:30~16:00

てしまクリニック形成外科・皮膚科 手島玲子院長講演
「“きず・やけど”の手当て これが新常識!」

手島院長の講座(“きず・やけど”の手当て
これが新常識!)へのお申込はこちらから



<https://ws.formzu.net/fgen/S17920008/>

土

7/21

医院経営者向け「分院展開戦略」セミナー CLINICStationCollege 7月21日待望の大阪開催!

クリニックステーションカレッジ

「クリニックステーション カレッジ」クリニック経営講座・分院展開戦略

アイセイ薬局が展開する医師向け単科講座シリーズ「CLINIC Station College(クリニックステーションカレッジ)」は潜在的なニーズをとらえた企画で独特の存在感を増しています。中でも昨年10月に東京で開催された「クリニック経営講座・分院展開戦略」は50名以上の医院経営者が参加した人気講座です。このセミナープログラムをさらに増強し、7月21日に大阪で参加費無料で開催します。医療法人は「分院」を開設し、複数のクリニックを運営することが可能です。しかしながら分院展開には様々な事業リスクがあり、ほとんどが「ひとり医療法人」として単体のクリニック運営をしているのが現状です。「分院展開には興味があるが、具体的な手法を知りたい」、「管理医師をどのように確保すればよいのか…」そんな医院経営者のニーズを背景に本講座は誕生しました。このセミナーでは分院展開戦略全般から出店立地戦略、そして最難関といえる「管理医師の確保」への方策を提示。また、今回からは複数の分院を積極展開する医療法人理事長が実践面でのポイントを解説。「経営者」としてステップアップしたい開業医に対して多くのナレッジを提供します。

日時: 7月21日(土) 15:00~17:40予定(開場14:30~)
会場: グランフロント大阪 タワーB 10Fカンファレンスルーム
対象: 開業医もしくは事務長といった医院経営層
定員: 70名
参加費: 無料

クリニック経営講座・分院展開戦略への
お申込はこちらから



<https://clinicstation.jp/event/3584/>

アイセイ薬局グループの施策に関するご質問や取材のご依頼は、下記連絡先にて承っております。

株式会社アイセイ薬局 コーポレート・コミュニケーション部
担当: 霜(しも)・飯村(いいむら)
TEL: 03-3240-0994 E-mail: koho@aisei.co.jp
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビルディング